

授業科目	臨床神経学 I				
担当者	岩田 篤 (実務経験者)				
実務経験者の概要	理学療法士として、慢性期病院での 15 年間の実務経験あり				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

神経内科疾患は、診断名と臨床症状を対応させるような理解ではなく、脳の変性部位と臨床症状を対応させて理解することが鉄則です。つまり、疾患が違っていても脳の変性部位が同じなら、同じ臨床症状が生じるということです。神経内科疾患では、脳・神経各部の働きと神経路を理解し、そこが障害されたらどのような症候を呈するのかを理解することが重要です。この講義では神経機能解剖学を理解したのち、神経症候のメカニズムについて解説します。

■ 到達目標

運動や感覚に係る神経機能解剖学を理解し、どの神経系が障害されればどのような臨床像になるのか、そのメカニズムを理解できる。

■ 授業計画

- 第 1 回 臨床神経学の基礎
- 第 2 回 神経機能解剖 1：大脳皮質の機能局在
- 第 3 回 神経機能解剖 2：皮質脊髓路
- 第 4 回 神経機能解剖 3：皮質基底核ループ
- 第 5 回 神経機能解剖 4：小脳回路網
- 第 6 回 神経機能解剖 5：感覚路系
- 第 7 回 神経機能解剖 6：視床
- 第 8 回 神経機能解剖 7：末梢神経系
- 第 9 回 神経機能解剖 8：脳神経
- 第10回 運動麻痺のメカニズムと臨床症状（筋紡錘の役割および腱反射のメカニズム）
- 第11回 錐体外路徴候のメカニズムと臨床症状
- 第12回 運動失調のメカニズムと臨床症状
- 第13回 意識障害／認知機能障害のメカニズムと臨床症状
- 第14回 自律神経障害／嚥下障害のメカニズムと臨床症状
- 第15回 まとめ

■ 評価方法

【定期試験（筆記試験）80%】小テスト 20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

前回の講義内容がどの程度理解できているか、次の講義の開始時に小テストを行いますので、前回の講義内容の復習を必ず行っておいてください。

■ 教科書

書 名：病気がみえる vol.7 脳・神経
 著者名：医療情報科学研究所 / 編集
 出版社：メディックメディア

■ 参考図書

書名：神経解剖学講義ノート

著者名：寺島俊雄

出版社：金芳堂

書名：脳の機能解剖と画像診断

著者名：真柳佳昭 / 訳

出版社：医学書院

書名：脳卒中ビジュアルテキスト

著者名：高木康行・他

出版社：医学書院

書名：メディカルスタッフのための神経内科学

著者名：河村満 / 編著

出版社：医歯薬出版

書名：神経内科学テキスト

著者名：江藤文夫・他 / 編

出版社：南江堂

■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 講義受講にあたって

この科目を理解するためには、「神経系の解剖学」「生理学Ⅰ・Ⅱ」の科目の理解が重要である。
また、「臨床神経学Ⅱ」「神経障害理学療法治療学Ⅰ」「神経障害理学療法治療学Ⅱ」へとつながる内容である。